

5-3 東海地方の微小地震の分布 (1992年5月1日～1992年10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May 1, 1992 – October 31, 1992)

名古屋大学理学部

School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1992年5月1日より1992年10月31日までの6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

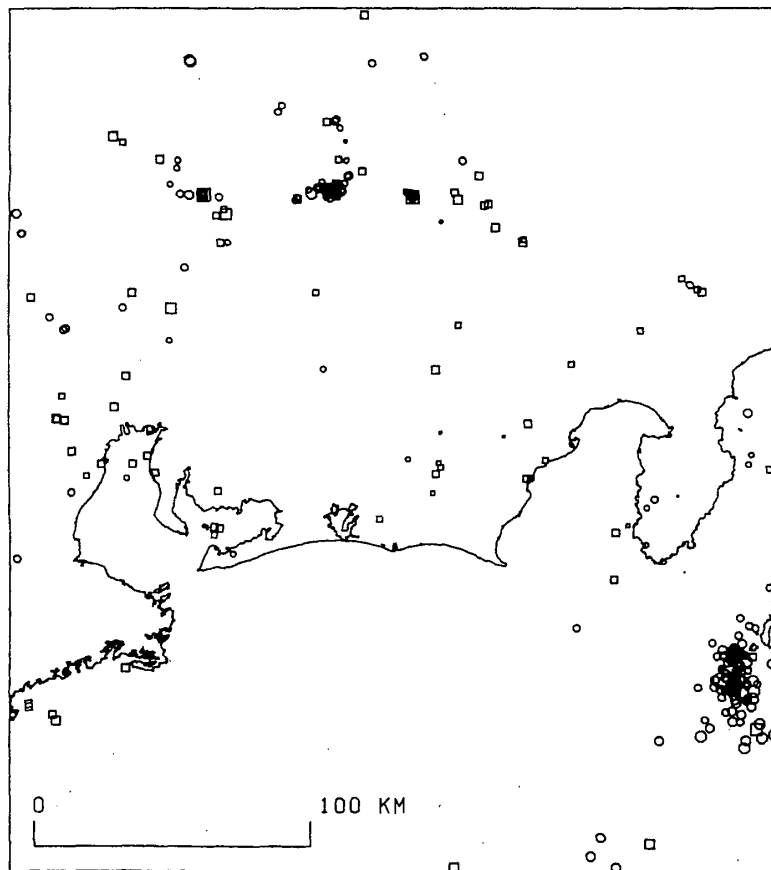
第1図は1992年5月1日より1992年10月31日までの6カ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を3カ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) この期間での愛知・岐阜・三重県等西部地域での地震活動は、6月13日愛知・岐阜県境付近でM3.1の地震が2回、熊野灘で6月19日M3.8、岐阜県中部で6月21日M3.6、三重県北部で7月5日M3.9、岐阜県西部で7月30日M5.2、愛知県東部で8月6日M3.5、三重県北部で9月20日M3.5等6月から8月にかけてやゝ活動的であった。
- (2) 静岡県でのこの期間の地震活動は、5月21日から6月4日にかけて南西部で微小地震が集中的に発生し、浜名湖付近で7月7日にM4.6の地震が発生した。7月21日に天竜川河口付近でM3.7の地震を含む数個の地震が発生した他、8月9日に中央部でM3.9の地震があったが概して静穏であった。
- (3) 長野県西部地域では5月18日M3.2の地震が発生したがほぼ定常的である。この他長野県中部で6月21日M4.1、7月5日M4.2、8月23日M3.6等の地震活動があった。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1991年11月1日～1992年4月30日)，連絡会報，48，(1992)，298-302

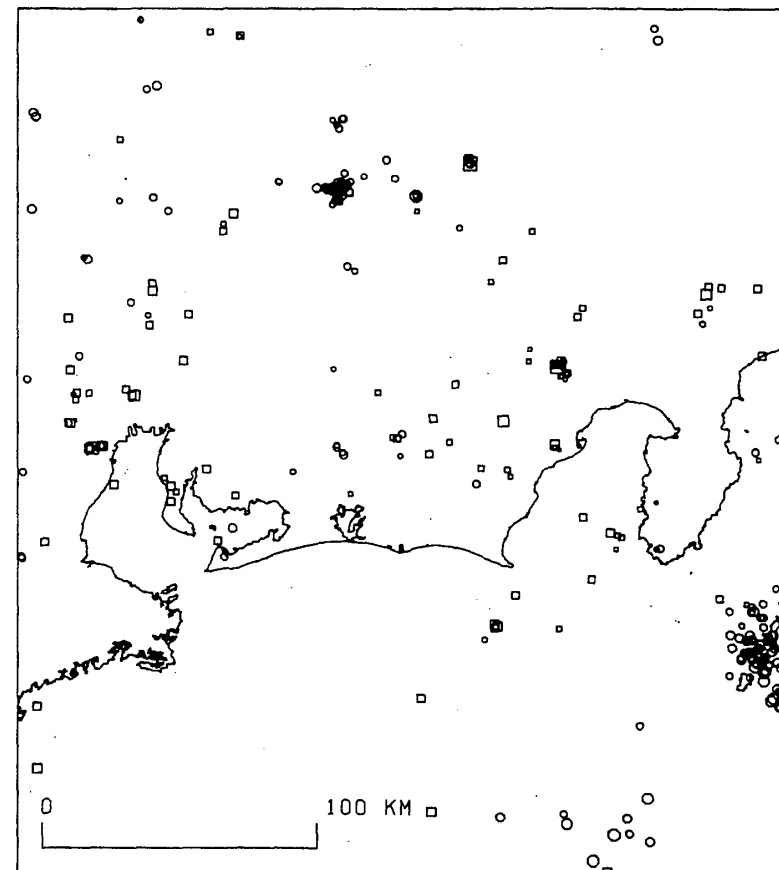


N = 271

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

MAG. 1 2 3 4
● ○ ○ ○

1992 5 1 - 1992 7 31



N = 286

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

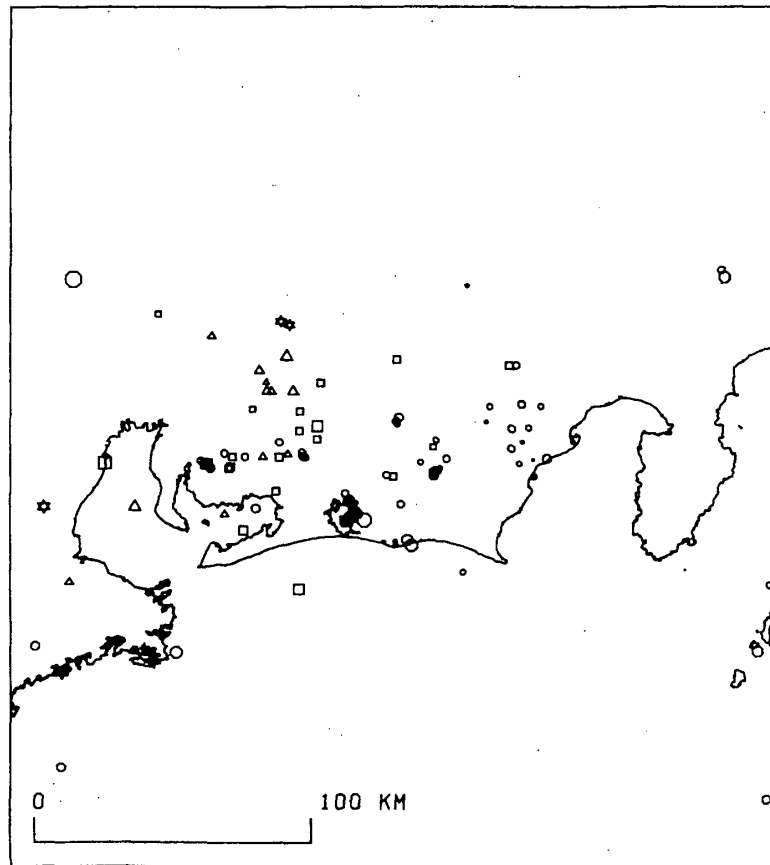
MAG. 1 2 3 4
● ○ ○ ○

1992 8 1 - 1992 10 31

(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1992年5月1日~1992年10月31日) 震源の深さが20km未満のもの

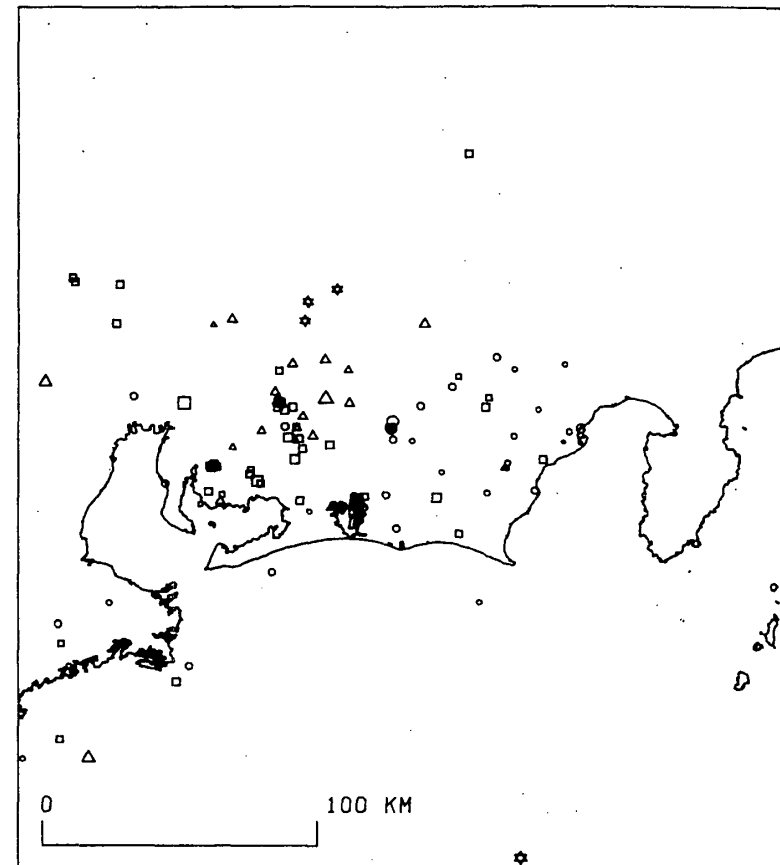
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1 - October 31, 1992) shallower than 20 km.



N = 106

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ° ○ ○

1992 5 1 - 1992 7 31



N = 118

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ° ○ ○

1992 8 1 - 1992 10 31

(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1992年5月1日~1992年10月31日) 震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1 - October 31, 1992) deeper than and equal to 20 km.